



# 名古屋いのちの電話

1999年度 事業報告



写真 文珠 幹夫

ほくが ここに

まど・みちお

ほくが ここに いるとき

ほかの どんなものも

ほくに かきなつて

ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば

そのゾウだけ

マメが いるならば

その一つぶの マメだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなどころに

いるときにも

その「いること」こそが

なににも まして

すばらしいこと として

童話屋発行

「ポケット詩集」より



## 「いのちの電話」のセールスポイント

愛知いのちの電話協会理事 木本 精之助

### 公共の補助金や助成金について

いのちの電話を説明する場合は、賛助会費や寄付金を依頼することに言及することが多いので、勢い公的な補助金、助成金の話題に赴くことが避けられません。殆どの社会福祉法人がその財政運営について、公共の助成や補助金に大きく依存しているわが国の福祉の現状から考えれば、いのちの電話は社会福祉法人認可団体の中では、補助金を受けていない稀少な団体であります。これは、補助を拒否しているのではなく福祉政策の法制上の不備がこれを妨げているのが実状であります。事業の対象が不特定であることが補助の対象には馴染まないという凡そ不可解な解釈が罷り通っているのです。

しかし、公共の補助金を受けていないという事実が、如何にいのちの電話の財政的自立を促しているかということです。またそのことが事業活動の活性化と、その純粋性の保持についてのエネルギーを生み出しているのです。地域社会の中で幅広い支援や後援を得るのに役立つ来たのではないのでしょうか。

### いのちの電話を支える今ひとつの視点

それはこの運動に関わる者一人一人に存する「ボランティア スピリット」にあります。現代社会を風靡する機能主義的な人間観や、近代的合理主義による生活信条を超越する「超我的奉仕」がこの集団を活かしているのです。この事実を言葉をもって説明することは困難ですが、幸いなことにいのちの電話にはこれを証する事例には事欠かないのです。

さて、「いのちの電話」を説き明かす結語には、以下のような結論が必要になりましょう。

いのちの電話の究極の願いは、「どのような状況の中でも、自己決定できる逞しい気力を回復する」ことです。自殺志向の強い人が死を思い直す瞬間は、お説教や励ましや説得ではなく、自分の気持ちがよくわかってもらえたと思うときです。自分の気持ちを理解してくれる人がいたという喜びの感動だけが生きる力と希望を与えます。危機的状況にある人にとって、一番必要なことは、一般的解決方法を知ることではなく、自分を人間として受入れてくれる人が側にいるということです。

「ヘー！電話一本で自殺が防げるんですか」  
「死んでも死にきれない苦しい立場、電話相談で何とかして貰えるんですか」

常務理事、事務局長として在任中は、いのちの電話のセールスマンを自認して、機会のある毎に人に会い、会社を訪ね、又会合に招かれて「いのちの電話」の宣伝に努めました。反応はさまざまで、上記のような率直な批判や質問も少なくありません。

何に力点を置いて如何に訴えたらよいのか自問自答もしばしばでありました。

### 一人の少女の無知からくる自殺がキッカケ

1953年、一人の少女が初潮を梅毒と誤解して悶々と悩み遂に自殺したことを悲しみ、英国国教会牧師チャド・バラ師が電話による相談を提唱したのが始まりでした。

このエピソードには、無条件で人命（生きること）の尊さを訴える点、自らの素性を明かさずに相談出来る匿名性の故に本音で話し合える点、何時でも、何処からでもかけられる点等、短期間に世界的な運動に発展したいのちの電話運動の基本的な特徴が含まれています。そして専門家でなくアマチュアの相談員がかけ手と対等の立場にある友人（よき隣人）として心をこめて聴くといふいのちの電話の特色が最初から活かされているのが強い印象を齎しています。

### 自殺者の数について

次に自殺者の総数は、一般には余り知られていません。日本国内で年に22,000人を越える自殺者があり、この数字は交通事故による死者の数の約2倍に当たる。これはかなりショッキングな説明として強い印象を与えていましたが、1998年度は前年に比し34.7%増加して31,863人という数字がかたられていることと、殊に経済生活問題を抱えた40歳代、50歳代の中老年層の自殺者が急増していること等に言及しなければなりません。これらの実態を明らかにすることは、いのちの電話の願いとするところをより鮮明にすることに役立っているのは皮肉な現象と言えましょう。

「おはようございます！」少し眠そうな表情でちょこんと頭を下げ部屋に入ってくる。〈おはよう！今日は少し寝不足？〉と私。「あっ、そろそろ時間だ。じゃあ、ちょっと行ってきます！」、〈はい。行ってらっしゃい。〉これは私が毎週1回行っている大学の保健室の一こまである。この保健室は学生相談室とドア続きで、保健室としての機能の他、予約相談者の控え室兼学生のサイコトリート（とまり木）スペースとして利用されている。毎日4、5人～20余人の学生が出入りしているが、大学生なのでけがや体調が悪くて利用する者はそれほど多くない。学生相談の予約も半日の相談では多くても5人程度であるから、大半はサイコトリートとしての利用者である。登校してもすぐに教室には行かず、保健室に来て保健管理者である養護教諭と少し会話し、そこから講義に出席したり、クラブ活動に参加する。講義がない場合は保健室にいる学生たちの話に耳を傾けたり、話に加わったり、読書をしたり、時には食事をしたりと学生たちが思い思いに過ごしている。中には講義がなく、面談予約でもないのに我々が作り出す空気（雰囲気）を求めてくる学生もいる。

大学生にもなって保健室登校…?!、と驚かれるかもしれないが、約20年前私が勤め始めた頃すでに似たような学生が存在していた。昨年実施した調査では、愛知県下の私立大学・短大25校中16校（64%）の大学で259人（0.3%）の保健室登校学生が認められた。大学にはホームルームがなく、決まった教室や自分の机がない。卒業研究等のゼミナール別になれば担当教員の研究室が居場所になる学生もいるが、多くの大学では卒業研究が必修ではなく選択科目になっている。またクラブやサークル活動に参加しなければ部屋もない。このような大学生と近頃注目を浴びている小・中学校、高等学校の保健室登校とは当然意味合いが異なる。皆さんは大学時代空き時間をどこで過ごされたでしょう？図書館、学生食堂、部室、空き教室、学生ホール？

私は近くの喫茶店と図書館の学習室の中央右から2つ目の机だったと記憶している。実際精神健康レベルの高い学生はこのような場所で空き時間を過ごしている。しかし精神健康レベルの低下した学生にとって、このような空間で時を過ごすのは少々難しいようである。また最近退学理由に、友達ができないからと明記する者が見られるようになった。中央大学で実施された調査でも大学生生活に望むことは勉強と友人作りで、良き友人が欲しいと答えた者は95%を占めた。しかし友人を作りたいと思っていても自ら人に話しかけることのできない学生も少なくなく、こうした学生には、学生相互の関係に多少心配りできる教職員が常駐している場所が必要であると考えている。

前述の保健室でも4年前は、学生どうしお互いに会話するのではなく、私や養護教諭との1対1のコミュニケーションしかとれない者がほとんどであった。例えば「大学祭のお手伝いしてくれる子、誰かいらないかなあ？」と6、7人の顔見知りの学生がいるのに私に問いかける。〈隣の〇〇君にきいてごらん〉と数回言われてやっと「ねえ、大学祭の時ひま？」と話しかけるという有様であった。しかし最近では、「僕お茶入れるけど〇〇さんも飲む？」とか、遠慮がちにそうっと入室する学生に対して「〇〇君おはよう！」「〇〇君も体

重計る？」「こっち空いてるよ。」とそれぞれが声をかけるというように、相手の気持ちを配慮しながら行動できるようになってきた。

私はサイコトリートスペースを、学生たちが今必要としているものを個々のペースで受け取ることができる空間にしたいと思っている。そうすれば学生の心を癒し活力を養う場であると同時に、友達や教職員との出会いの場、コミュニケーション能力を高める場といった自己成長の場になると考えている。

（訓練スタッフ・東海学園女子短期大学）

## 大学生の サイコトリート

（とまり木）

石田 妙美



1999年度の事業の概略を報告させていただきます。愛知いのちの電話協会の電話相談活動に対しまして、この年度もかわらぬご支援とご協力を賜りました賛助会員、賛助法人並びに寄付者（個人及び団体）の皆さまに心よりの感謝を申し上げます。また、一年を通じて一日の休みも無い相談活動のために奉仕頂きました相談員の方々のご労苦に対し、あらためて敬意と感謝を申し上げます。

### 理事会報告

開局以来15年目を迎えた1999年度は、前年度にそのプランを練り上げた「センター移転」と「眠らぬダイヤル24時間受信体制」が愈々実現をみた記念すべき年となりました。

1986年以来、活動の拠点を提供して、陰に陽に我々に支援を惜しまれなかった「みこころセンター」に去り難い愛着を覚えつつ、4月下旬関係者総出の移転作業を実施して5月1日よりかねてより準備した24時間受信体制に移行することができました。特に、深夜や早朝よりの時間帯の相談担当に相談員の並々ならぬ熱意と努力が傾けられ、一挙に相談活動の充実拡大を実現することができました。

こうした24時間眠らぬダイヤル実現を可能にする資金募集には、2月～8月の募集期間を中心にキャンペーンを実施し、339人の個人および41法人および団体より総計735万円余の浄財を頂戴することができました。

名古屋市内のとりわけ至便な地に場所を提供いただきました内川正邦氏のご厚意と、見事な内装工事を限られた期間と切りつめた予算の中で、効率よく実施いただいた「ナガイ企画」の関係者にもあらためて感謝申し上げます。

前年度より実施中でありました第11期相談員養成講座は11月にすべてのコースを完了し、60人の受講生が認定を受けて相談員に加わることになりました。これを機会に相談電話の台数も12月始めよりかねてからの計画に従い増設をはかり、常時3台の電話が稼働することになりました。これらの結果本年度の電話相談受信件数は、年間総数20,854件、開局以来の受信総数は213,061件（2000年3月末現在）に達しました。

相談員の継続研修、及びスーパービジョンにつきましても、その量的な拡大とともに充実がはかれ、懸案でありました研修アドバイザー方式が新たに導入され進行中であります。絶えず学びつつ相談に当たる相談員諸氏の熱意と、訓練指導にご奉仕下さる訓練スタッフの方々のご尽力に感謝と敬意を表する次第であります。

また、昨年11月にはさる篤志家より特別の寄付を頂戴し、これによりまして社会福祉法人認可を受けてよりの課題でありました、基本財産基金積み立て1億円の目標を一気に越えることが出来ました。深甚なる感謝をもってあらためて報告いたします。

年間の自殺者数が前年に比して34.7%増加して32,863人に上ったことが報じられ、いじめの問題や児童虐待への憂慮は後を絶ちません。深刻な不況の続くきびしい経済環境の中にはありますが、かえって充実した活動とそのための場が備えられ、資金の上にも必要なものを与えられて、まことに特筆すべき一年でありました。感謝のほかありません。ご支援をお寄せ下さいました個人、法人及び団体の皆さまにあらためて厚く御礼申し上げます。

## 社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

理事長 長岡利貞

理事 豊田壽子、笠原 嘉、野村純一、鈴木郁雄、岡部快圓、木本精之助

監事 内河恵一、小山 勇

評議員 長岡利貞、西沢信正、水谷 颯、山口幸男、加藤迪春、梶原 寿、山口真人、柿本大真、山本英克、兼田智彦、長井 潤、安藤和彦、浜下訓子、常富佳子、キース ハンプリーズ

## 総務委員会報告

総務委員会の性格は、訓練と財務以外で、相談員の方々がより快適に相談や集会をしていただけるように、センターを中心とした環境を整備するお手伝いをする事と「いのちの電話」をより広く社会に理解していただくための啓蒙活動をすることです。そのための色々な計画・企画の立案から実施・評価反省までをするための委員会です。

'99年度の中で何と言っても最大の出来事は、新しいセンターを与えられて移転をしたことです。勿論「電話相談」という大切な事業が中心なのですが同時に研修や集会、また事務局機能という、多様な性格の要求を満たすため、多くの方々の意見を参考に取り入れながら、苦勞して今のセンターのレイアウトを作りました。ただ、千差万別の方々の集まるボランティアの団体なので、全ての人に満足していただけることはとても難しいことと痛感いたしました。ともあれ、日本で有数の恵まれたセンターとなって、24時間相談が実施できましたことに、感謝しています。

また「相談員の手による運営」で「環境改善班」が生まれました。既に積極的に環境改善のための活動をされていますが、今後多くの方々の意見を取り入れながら、どんどん充実した活動となる予定です。応援とご協力をよろしく願いいたします。

10月にはかんぽの後援会を、11月には恒例フリーマーケットを、12月にはチャリティーコンサートをそれぞれ多くの方々のご協力で成功裏に実施することができました。

また、識別名札制度を実施できましたし、締めくくりには、長年お世話になった木本さんへの感謝会を予想を越える方々の直接・間接のご参加をいただいて楽しく開催することもできました。

あれも、これも、全て感謝感謝の一年でした。

2000年度もご理解ご協力をよろしく願いいたします。

(総務委員長 長井 潤)

## 訓練委員会報告

1999年度は名古屋のいのちの電話が新センターへの引越しを完了し、念願の24時間受信体制を実現した年であった。訓練委員会の主な活動は以下のようなものであった。

- ◎1999年度の登録相談員数は204人。他センターよりの移籍者は3人、長期欠席申請者は15人であった。
  - ◎11期相談員養成研修は第二課程を'99年10月で終了し、その結果をもって11月30日に60人の認定が行なわれた。
  - ◎継続研修は、奇数月はベルの会の話し合い、偶数月は専門家講師による研修、とする新方式の2期目に入り、グループを組み替えて5月より開始した。開講グループ数は17であった。また12月からは11期生の継続研修5グループが加わった。
  - ◎相談員養成のための研修ボランティア(エディ)制度を発足させた。これは新規に相談員になった11期生の継続研修グループのファシリテーターを、すでに活動している相談員の互選によって選ばれた経験豊かな相談員が担当する制度で、10月に投票を行った結果6票以上の推薦を得た相談員の内9人が研修ボランティアを引き受け、2001年3月まで担当する。
  - ◎訓練委員会主催の研究会を2回行った。第1回は「切らせてもらえない電話」をテーマとして6月24日に行い、約20人が出席した。第2回は「自殺をはのめかす電話」をテーマとして11月1日に行い、約30人が出席した。
  - ◎全国訓練担当者セミナーが9月17・18日に仙台で行われ、訓練委員会より2人が出席した。「スーパービジョンの基本的なあり方」をテーマとして分科会に分かれ、各センターの実情を踏まえた議論が活発に行われた。
  - ◎12期相談員養成研修の募集を2000年2月より開始し、62人の応募を得た。4月15日に面接を行い、52人の受講希望を受理した。養成研修は2000年5月より開始する。
  - ◎2000年度のための登録更新研修会を、3月下旬に4回開催した。
  - ◎「相談員の手引き」の改定を行い、第3版を3月に発行した。
  - ◎長瀬治之訓練委員が、一身上の都合で2000年3月をもって退任した。
  - ◎佐竹一予訓練担当主事が、一身上の都合で2000年3月をもって辞職した。
- 一年間ご協力くださった相談員、事務局員、訓練委員諸氏に感謝いたします。

(訓練委員長 山口真人)

財務委員会報告

1999年度の収支をご報告申し上げます。

当年度のわが国の景況は依然として低迷しておりましたが、私どもでは画期的な前進と云ってもよい出来事がありました。

それは、篤志ご寄付により念願の基本基金1億円がクリアー出来たことと、24時間体制確立のための資金募集が7百万円余となり眠らぬダイヤルの施設が完成稼働したことであります。

これには、創設以来多数の賛助会員の方々の

ご協力と多額のご寄付をくださったご尽力者の方々の善意に加え、歴代のスタッフが誠実な運営を続けて来られたからであり、改めて感謝を申し上げます。

しかし、こういう体制に伴い今後の在り方について留意し、将来に向かってよい判断をしなければならぬことがあります。

収支計算書の車庫賃借料、地代家賃、共益費、水道光熱費の個所をご覧ください。

この項目の合計は、3,835千円で前年比60%・

1999年度収支計算書

(単位 円)

借 方 ( 支 出 の 部 )		貸 方 ( 収 入 の 部 )	
科 目	1999年度決算額	科 目	1999年度決算額
教育・訓練費	2, 990, 335	助成金	900, 000
広報費	696, 491	賛助会費 (A)	1, 320, 000
調査・研究費	60, 204	賛助会費 (B)	600, 000
会議費	14, 987	賛助会費 (C)	551, 000
特別事業費	505, 289	会費 (個人)	385, 000
連盟負担金	361, 000	会費 (法人)	5, 515, 000
諸会費	206, 300	相談員の会費	201, 000
職員給与	6, 369, 060	協力会費	
法定福利費	64, 718	寄付金 (個人)	50, 729, 934
旅費・交通費	782, 470	寄付金 (団体)	843, 010
退職引当金		年末募金	1, 052, 000
保険料		特別事業収入	1, 271, 060
移転費用	769, 306	講座受講料	2, 004, 300
地代・家賃	2, 604, 000	基金募金収入	50, 000
共益費	283, 800	移転資金	7, 324, 000
水道光熱費	527, 025		
車庫賃借料	420, 000	受取利息	344, 412
営繕費	36, 779	雑収入	60, 330
通信費	485, 946		
文具・印刷費	654, 146		
消耗品費	288, 625		
雑費	405, 234		
固定資産取得費			
基金繰入	50, 000, 000		
固定資産除却損	4, 660, 000		
次期繰越金	2, 332, 943	前期繰越金	2, 367, 612
合 計	75, 518, 658	合 計	75, 518, 658

1,435千円の増加であり、収入の24%を占めます。

社会的な使命を果たすには、コストもかかることを認識しなければなりません。これに対応する収入増をどのように展開するか。一方、当期末時点で事務局には定例的な給与を支給する対象者はなくなりました。

多岐にわたり、スピードも必要とする事務上の業務をフルタイムの専任者で対応すれば、連絡などに疎漏がなくて好都合ですがその能力に応じた定例給与を支給するには財務上の体力に

限界があります。

そこで事務ボランティアで対応すれば、財務上には難点がないものの連絡などには疎漏が発生しやすい弱点を抱えます。

社会的な使命とコスト、浄財による運営そして労働の報酬に対する正しい姿勢の相関の中でよい判断をするために目下のところ財務委員会と事務局では様々な角度から業務の処理方法を試しております。

(財務委員長 加藤迪春)

2000年度予算

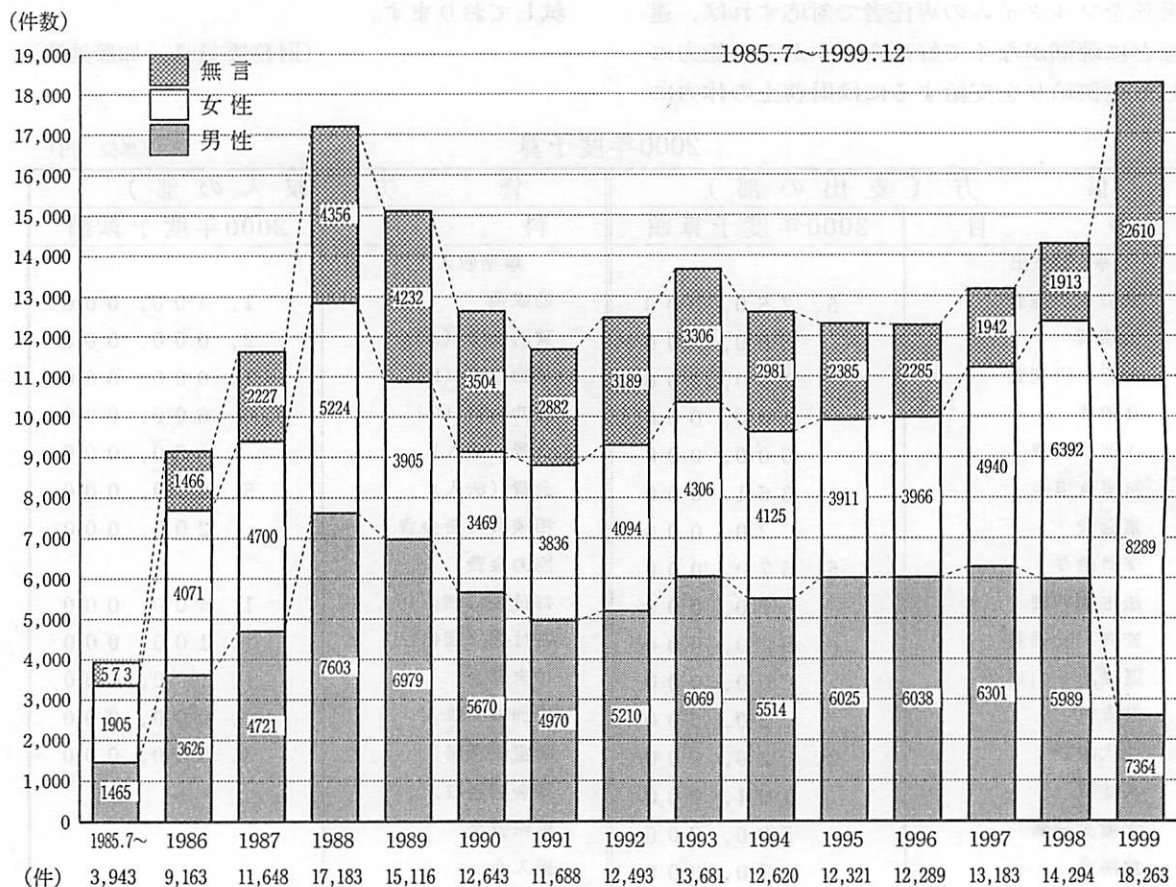
(単位 円)

借 方 ( 支 出 の 部 )		貸 方 ( 収 入 の 部 )	
科 目	2000年度予算額	科 目	2000年度予算額
事業費支出		事業収入	
教育・訓練費	5,750,000	助成金	1,400,000
広報費	800,000	賛助会費(A)	2,000,000
調査・研究費	150,000	賛助会費(B)	1,000,000
会議費	100,000	賛助会費(C)	600,000
特別事業費	600,000	会費(個人)	400,000
連盟負担金	361,000	会費(法人)	5,800,000
諸会費	20,000	相談員の会費	200,000
職員給与	5,570,000	協力会費	
法定福利費	70,000	寄付金(個人)	1,400,000
旅費・交通費	940,000	寄付金(団体)	1,100,000
退職給与引当金	600,000	年末募金	1,100,000
保険料	20,000	特別事業収入	1,000,000
地代家賃	2,520,000	講座受講料	3,850,000
共益費	164,000	基金募金収入	
水道光熱費	500,000	移転資金	
営繕費	70,000	繰入金	
車庫賃貸料	315,000	引当金戻入	
通信費	600,000	積立金戻入	
文具・印刷費	600,000	受取利息	400,000
消耗品費	300,000	雑収入	150,000
雑費	350,000		
合 計	20,400,000	合 計	20,400,000

# グラフで見る名古屋いのちの☎

○14年間の受信件数の推移 (1985年7月～1999年12月)

1985年からの総受信件数は190,528件で、相談員との会話がなかった無言電話39,851件をのぞくと相談電話の受信件数は150,677件となります。(1999年12月31日現在)  
1999年は、1日あたり43件の相談電話を受信しています。これは、99年5月より24時間受信を開始したため、大幅な増加をみえています。



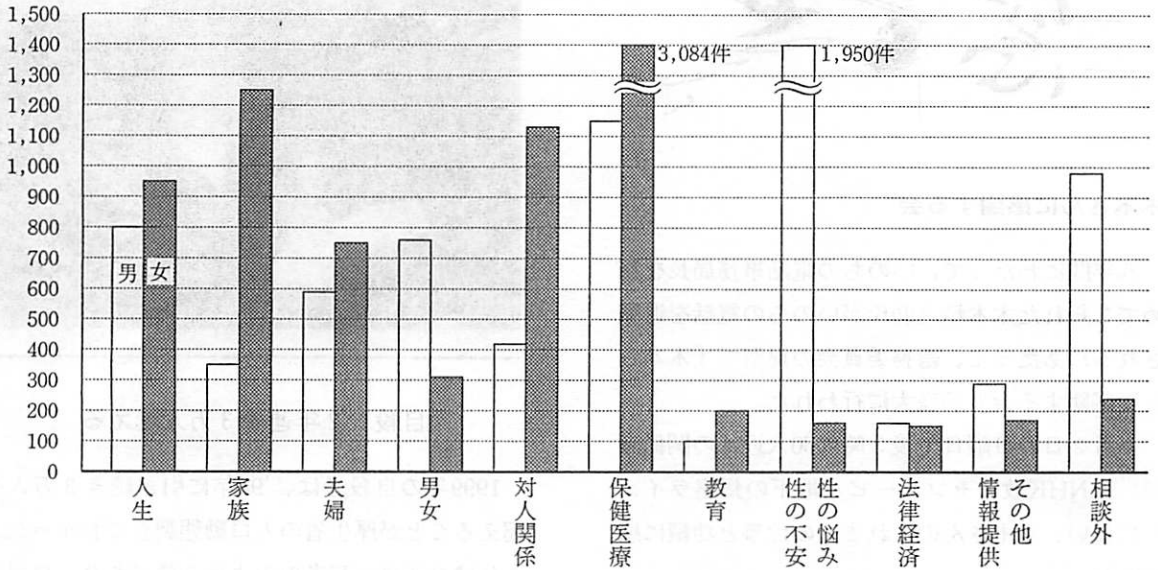
## いつでもどこからでも

いのちの電話は「いつでもどこからでも電話で相談できる」という特徴を持って活動している。しかし、全国48のいのちの電話センターのなかで、24時間体制をとっているのは24のセンター。名古屋いのちの電話も1999年5月1日から、その仲間入りをした。

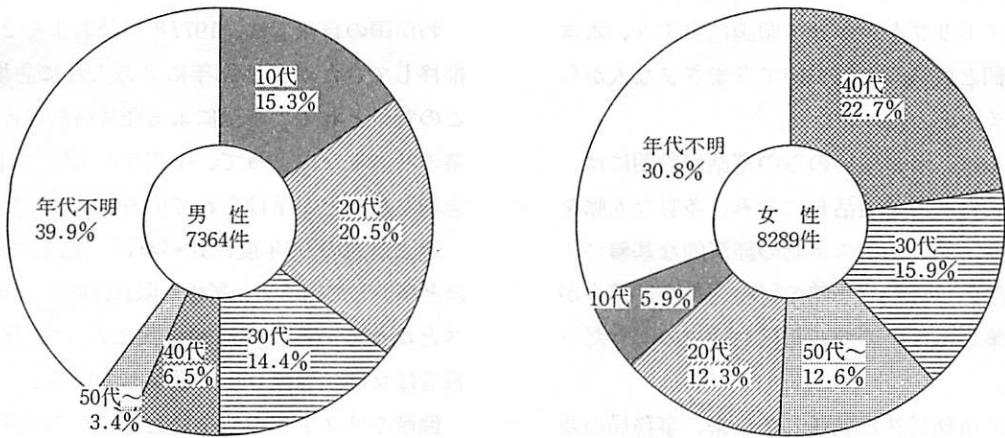
24時間体制となったことで、相談電話の受信件数は一挙に27%の増加をみた。特に深夜帯(深夜22時～翌朝8時)は全国から利用されており、相談内容も多岐にわたっている。

○相談内容男女別の相談件数

(件数) □ 男性 7,364件 ■ 女性 8,289件 総件数 15,653件 (1999.1~12)

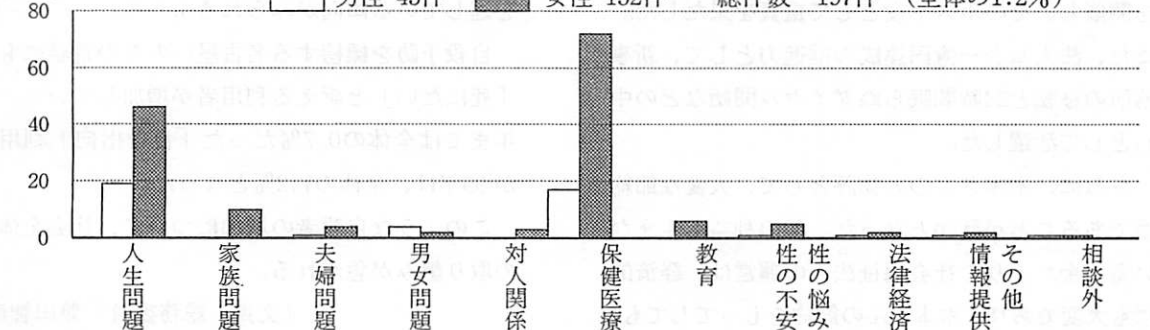


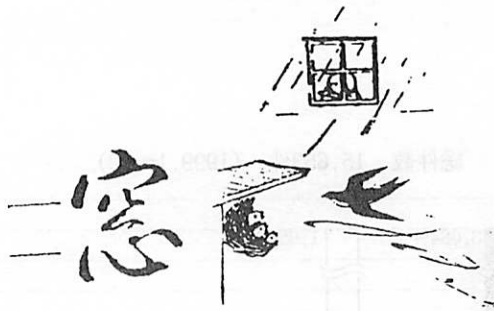
○男女別・年代別の相談件数



○自殺指向電話の相談内容男女別件数 (1999.1~12)

(件数) □ 男性 45件 ■ 女性 152件 総件数 197件 (全体の1.2%)





## 木本さんに感謝する会

八年間にわたって、いのちの電話事務局長を務めてこられた木本精之助氏がいのちの電話を退職されるにあたって、総務委員会の提案で「木本さんに感謝する会」が盛大に行われた。

4月2日の日曜日午後3時に60人近くの関係者が、栄NHK放送センタービル地下の銀座ライオンに集い、木本さんのこれまでの仕事と功績に感謝した。

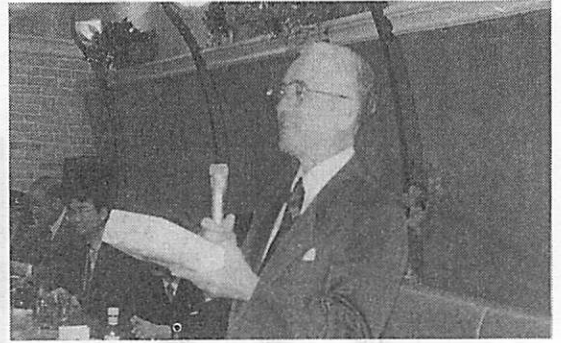
感謝する会の司会は、総務委員長の長井さんが持ち前のアドリブをきかせて順調にすすみ、木本さんの人柄と仕事ぶりについてさまざまな人からのスピーチがあった。

木本さんは、名古屋いのちの電話創設期には、財務委員長として募金活動に励み、多彩な人脈を生かして名古屋いのちの電話の経済的な基盤づくりに力を注いだ。創立当時の財務委員会は募金がなかなか集まらないので、毎回お通夜のようなそうだった。

八年前に事務局長に就任して以来、事務局の要となって活動した。愛知いのちの電話協会設立10周年記念行事として、「いのちの電話全国研修会」を開催し、そのホスト役として重責を果たした。また、法人基金一億円達成の推進力として、新事務所の移転と24時間眠らぬダイヤル開始などの中心として活躍した。

さらに、木本さんの人物評として、大変な節約家であることが話題となった。何の利益も生まない寄付金たよりの社会福祉法人の運営は、経済的にも大変であり、木本さんの節約をもってしても、基金が1億円になったのはつい最近のことなのだ。

今後もいのちの電話の理事として、ますますのご活躍をお願いしたい。



## 自殺 2年連続3万人越える

1999年の自殺者は、'98年に引き続き3万人を超えることが厚生省の人口動態調査でわかった。これは交通事故死者のおよそ3倍であり、自殺予防の対策が迫られている。

わが国の自殺者は、1977年以降およそ2万人で推移してきたが、1998年に3万人台に急増した。この背景として、不況による経済活動の停滞や企業のリストラによって、中高年の男性の自殺者が急増したことが挙げられている。

過去最悪の'98年度に比べれば、総数では400人ほど減少しているが、男性に限れば昨年と同じペースとなっている。特に90年代に入って、男性の自殺者は女性のほぼ2倍で推移している。

倒産やリストラの波をまともにかぶる50代は、職場の人間関係など辛いことを我慢することを美德とする意識が根強く、誰かに相談するチャンス逃している傾向がみられるようだ。

自殺予防を標榜する名古屋いのちの電話にも、「死にたい」と訴える利用者が増加している。昨年までは全体の0.7%だった「自殺指向」利用者が'99年は、全体の1.2%となった。

このような自殺者の増加について、社会全体での取り組みが急がれる。

(文責 総務委員 兼田智彦)

## ご援助ありがとうございます

2000年1月より4月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共にご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

社会福祉法人愛知のちの電話協会  
理事長 長岡 利貞  
財務委員会

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

### 賛助会員A

鶴野秋信	田中健次郎	佐藤あさ子	岡田清子	服部昭子
石原之浩	加藤迪春	伊藤美江子	水野由吉	前田山田
岩田明	岩野一郎	井坂津矢子	聖靈病院	中福笠
岡田庸男	島多恵子	岡本稔	前田勝昭	井康
吉田弘明・好枝	酒井映子	榎本久美江	栉久保	
小川義雄・マリ子	梶原寿	カトリック蟹江教会	川名山聖靈修道院	
金城教会福祉社会委員会				

### 〈会費〉

西沢 信正 長岡 利貞

### 賛助会員B

大森正樹	浜本孝子	粕谷靖彦	津村俊充	高橋青子
中村かつ代	和田康司	青山本紀子	鏡近柳今	島坂小笠原内哲
真山成子	中辻藤三治郎	高浅石神		
松隈あい子	佐藤百合子			
戸田ルリ子	岩田久江			
宮内英夫	梶原久			

### 賛助会員C

渡辺邦俊	小中栗和子	水野真子	杵山北達雄	神江谷将弘
川原恵道	桜井晋介	山崎京子	中福相福	中野井小松植矢林
春日部喜美江	磯部理恵子	尾下川村重弘	相矢青穂寺石森	野井小松植矢林
岡田喜美江	田一周邦忠	川村ス・ヘルガ子		
小石川恵子	野川和代	水野小		
山下タカ子	小川和			
山本妙子	鈴木小川			
能登みい子	復活ルuterel教会婦人会			
竹内宏子				
鈴木敬子				

### 寄付金

豊田理恵・理彰	安原律子	鬼頭明枝	佐竹一子	佐藤あさ子
善昌寺	加藤みゆき	風岡良将	中川江美紀	谷口村田熾夫
岡崎和子	島田吉枝	梨本藤村	桐林真子	河上大鈴木
林周子	杉藤順平	伊下見木	西四日温	小島
松隈あい子	田て	木本木	日本福音ルーテル希望教会	
小笠原覚	岡利貞	鈴木敬子	布池カトリック教会	
朝倉夏雄・建子	長石			
三井とみ恵				
カトリック東山教会	在日大韓基督教名古屋教会女性会			
日本キリスト教団	愛知教会女性の会	愛知教会社年会	金城教会福祉社会委員会	
	名古屋北教会社会奉仕委員会	名古屋東教会婦人会	瀬戸永泉教会	
光ヶ丘女子高等学校	幼き聖マリア修道会	名古屋学院大学宗教部		

### クリスマス歳末募金

梶原久江 小坂橋秀行 山野トシミ 山田久子 小栗和子  
 石田夏江 日本キリスト教団熱田教会 日本キリスト教団豊田教会  
 日本キリスト教団半田教会 日比野カトリック教会 金城学院高等学校 栄冠幼稚園  
 一宮聖光教会 日本キリスト教団愛知守山教会 カトリック魚津教会 豊山教会  
 日本キリスト教団南山教会 ヘンデル協会 日本キリスト教団中京教会 カトリック半田教会  
 カトリック長浦教会 日本キリスト教団広路教会 (金沢) 聖霊病院  
 日本キリスト教団名古屋桜山教会 カトリック高蔵寺教会 カトリック南山教会 金城学院  
 名古屋西教会 日本キリスト教団豊田教会婦人会 名古屋キリスト教女子青年会  
 カトリック神宮修道会多治見教会

### 賛助寄付

アラコ株式会社 株式会社両口屋是清 株式会社丸政 愛知トヨタ自動車株式会社  
 東名サニタリー株式会社 株式会社城北自動車学校 岡谷綱機株式会社 株式会社東郷製作所  
 豊田工機株式会社 財団法人後藤報恩会 曹洞宗慶昌院

### 助成金

東海テレビ福祉文化事業団

## お知らせ

平素より愛知いのちの電話協会の運営及び諸活動に深いご理解とご支援を賜りますことに感謝申し上げます。

さて、今般下記のとおり人事に移動がありましたので報告申し上げます。今後ともよろしくご協力ご支援をお願い申し上げます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

理事長 長岡利貞

記

木本精之助 (常務理事・事務局長)

3月31日を以って退任。非常勤理事

山本 英克 (評議員)

7月1日付 事務局長に就任

加藤 迪春 (評議員・財務委員長)

4月1日～6月30日 事務局長代行

## 賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。

会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力を添えて下さいますようお願いいたします。

社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。

誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

(1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円

(2) 賛助会員 (年間1口)

A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円

(3) 一般寄付はご自由な金額で結構です。

(4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 東海銀行大津町支店(普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせは…

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

事務局 ☎ 971-5181

### 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

2000年初夏

#### 名古屋いのちの電話

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257

事務局 ☎ 052-971-5181

相談電話 ☎ 052-971-4343

携帯相談電話 NTTドコモ東海 「#9556」

郵便振替口座 00810-8-53758

東海銀行大津町支店(普)477029

2000年6月1日発行

発行人 長岡 利貞

編集人 広報委員会